

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

仙台市立錦ヶ丘小学校（仙台市）

【取組内容④】 「働き方改革に寄与するクラウド活用」 チャットを活用した職員室と教室の連絡

【概要】大規模校における教職員間の確実な連絡体制を確保するため、GoogleChatを連絡掲示板として活用。朝の出欠連絡確認業務においては、教室と職員室の行き来を減らすことにつながった。また、全職員との情報共有がスムーズに行えるようになった。

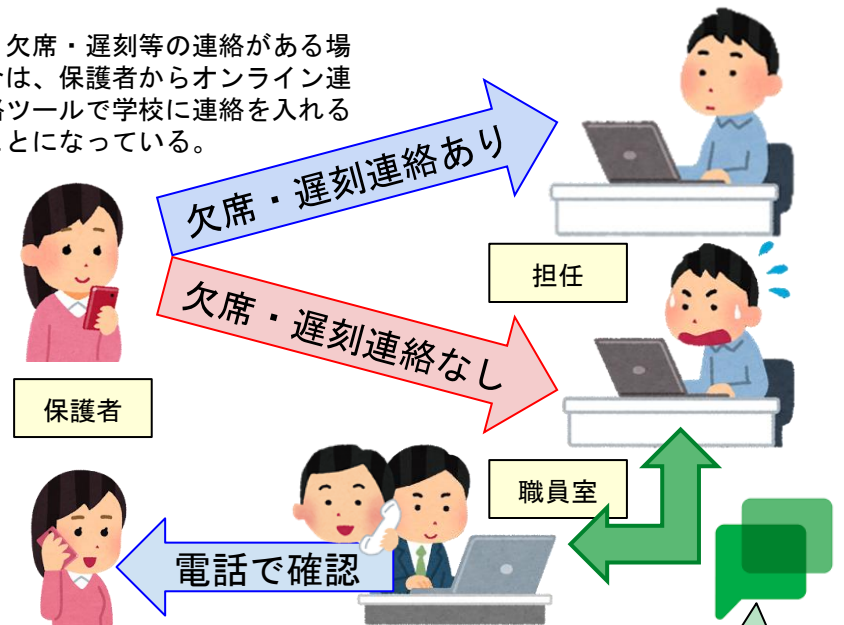
実践例①「校内連絡掲示板にGoogleChatを活用」



Google Chatを開くことを習慣化するため、職員室内にメッセージを掲示。

実践例②「出欠席連絡の確認」

欠席・遅刻等の連絡がある場合は、保護者からオンライン連絡ツールで学校に連絡を入れることになっている。



もしも保護者からオンライン連絡が無かった場合、Google Chatで職員室に連絡。職員室から保護者に電話連絡を行う。

教室と職員室をChatでつなぐ

「#働き方改革の観点」

CHAT利用をさらに進めます

→ **SOSを発信しやすい職場環境の構築**

- 情報をすぐに共有できる（自分だけが知っている時間を最小限にする）
- 情報をどこからでも共有できる（子どもたちから目を離す必要が無い）
- 情報を一度に共有できる（たくさんの人に共有することでヒヤリハットを減らす）